

(電子メール施行)  
農技第1426号  
平成29年10月31日

関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

平成29年度病虫害発生予報第6号を発表します。

平成29年度病虫害発生予報 第6号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
トマト	灰色かび病	やや少	少
	アブラムシ類	やや少	少
	コナジラミ類	平年並	やや少
ハクサイ	白斑病	やや少	少
	べと病	やや少	少
	軟腐病	平年並	少
冬(春)キャベツ	黒腐病	やや少	少
	菌核病	平年並	少
タマネギ	べと病	平年並	少
	細菌性病害(腐敗病、りん片腐敗病、軟腐病等)	平年並	少
	苗立枯病	平年並	少
冬レタス	菌核病	平年並	少
	灰色かび病	やや少	少
	腐敗病	やや多	平年並
イチゴ	灰色かび病	やや少	少
	うどんこ病	やや少	少
	アブラムシ類	平年並	やや少
	ハダニ類	やや多	平年並

\* 気象の概況

## 近畿地方 1か月予報

(10月28日から11月27日までの天候見通し)

平成29年10月26日  
大阪管区气象台 発表

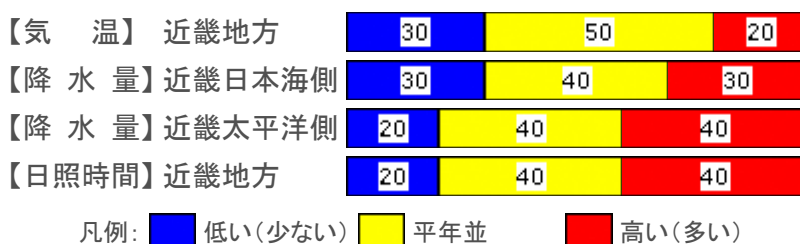
### <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

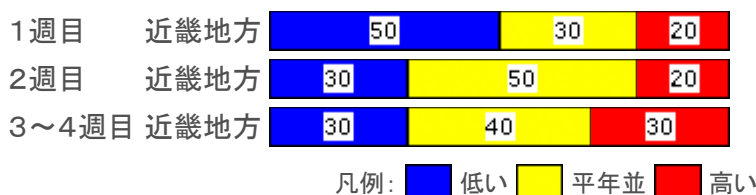
近畿日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並の確率50%です。降水量は、近畿太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。週別の気温は、1週目は、低い確率50%です。2週目は、平年並の確率50%です。

### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



### <気温経過の各階級の確率(%)>



### <予報の対象期間>

1か月 : 10月28日(土)~11月27日(月)  
1週目 : 10月28日(土)~11月 3日(金)  
2週目 : 11月 4日(土)~11月10日(金)  
3~4週目 : 11月11日(土)~11月24日(金)

## \* 発生概況及び防除対策上の留意点

### トマト

#### 1 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

10月下旬の場内ほ場及び現地ほ場では発病は確認されていない。今後の気象条件は、気温は平年並、降水量は並からやや多いと予想されている。降雨が続くと施設内は多湿条件となりやすく発病が助長され、今後はやや少ない発生で推移すると考えられる。

#### 2 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

10月下旬の現地ほ場及び場内ほ場では発生は認められなかった。今後の気象条件は、気温は平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

#### 3 【コナジラミ類】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並  
(2) 予報の根拠

10月下旬の現地ほ場では発生は認められなかったが、場内ほ場では寄生複葉率が6.7%（平年値22.2%）とやや少ない状況であった。しかし、今後の気象条件は、気温は平年並、日照時間はやや多いと予想されており、施設では増殖に好適な条件になり、平年並の発生になると考えられる。

### ハクサイ

#### 1 【白斑病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

10月下旬の場内ほ場及び現地ほ場では発病は確認されていない。今後の気象条件は、気温は平年並、降水量は並からやや多く、日照時間はやや多いと予想されているので、今後はやや少ない発生で推移すると考えられる。

#### 2 【べと病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

10月中旬の場内ほ場及び現地ほ場では発病は確認されていない。今後の気象条件は、気温は平年並、降水量は並からやや多く、日照時間はやや多いと予想されているので、今後はやや少ない発生で推移すると考えられる。

#### 3 【軟腐病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並  
(2) 予報の根拠

10月中旬の現地ほ場では発病は認められなかったが、台風等の風雨による茎葉の傷

口から病原菌が侵入しやすい状態と考えられる。今後の気象条件は、気温は平年並、降水量は並からやや多いと予想されているので、感染が助長され、平年並の発生になると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア. ほ場内に明渠排水等を行い、排水対策を実施する。

イ. 予防的な薬剤防除を行う。

ウ. 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

## 冬（春）キャベツ

### 1 【黒腐病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

10月中旬の現地ほ場では発病は認められなかった。今後の気象条件は、気温は平年並、降水量は並からやや多いと予想されているので、感染がやや助長され、やや少ない発生で推移すると考えられる。

### 2 【菌核病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

10月下旬の現地ほ場の調査では発病は認められなかったが、9月下旬以降の風雨により感染リスクは高いと考えられる。今後の気象条件は、気温は平年並、降水量は並からやや多いと予想されているので、感染が助長され平年並の発生で推移すると考えられる。

## タマネギ

### 1 【べと病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

10月下旬の現地苗床の調査では発病は認められなかった。しかし、台風被害等により苗床が冠水したり、畝が崩れている圃場があり、卵胞子による感染リスクは依然としてやや高いと考えられる。今後の気象条件は、気温は平年並、太平洋側の降水量はやや多いと予想されているので、本病は平年並の発生で推移すると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア. ほ場内に明渠排水等を行い、排水対策を実施する。

イ. 予防的な薬剤防除を行う。苗床では定植前日の薬剤防除を徹底する。

ウ. 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

### 2 【細菌性病害（腐敗病、りん片腐敗病、軟腐病等）】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

10月下旬の現地ほ場の調査では発病は認められなかったが、9月下旬以降の台風

等の風雨により感染リスクは高いと考えられる。今後の気象条件は、気温は平年並、太平洋側の降水量はやや多いと予想されているので、本病は平年並の発生で推移すると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア. ほ場内に明渠排水等を行い、排水対策を実施する。

イ. 剪葉前の定期的な薬剤防除を実施する。

ウ. 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）

等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

### 3 【苗立枯病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

10月下旬の現地ほ場の調査では発病は認められなかったが、台風の風雨等により苗床が冠水したり畝が崩れている圃場があり、感染リスクは高いと考えられる。今後の気象条件は、気温は平年並、太平洋側の降水量はやや多いと予想されているので、本病は平年並の発生になると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア. ほ場内に明渠等を行い排水対策実施。

イ. 予防的な薬剤防除を行う。

ウ. 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）

等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

## 冬レタス

### 1 【菌核病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

10月中旬の現地ほ場の調査では発病は認められなかった。しかし、今後の気象条件は、気温は平年並、太平洋側の降水量はやや多いと予想されているので、本病の発生が助長され、平年並の発生で推移すると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア. ほ場内に明渠排水等を行い、排水対策を実施する。

イ. 予防的な薬剤防除を行う。

ウ. 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）

等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

### 2 【灰色かび病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

10月中旬の現地ほ場の調査では発病は認められなかった。しかし、今後の気象条件は、気温は平年並、太平洋側の降水量はやや多いと予想されているので、本病の発生がやや助長され、やや少ない発生で推移すると考えられる。

### 3 【腐敗病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多  
(2) 予報の根拠

10月中旬の現地ほ場では発病が認められた。台風等の風雨による茎葉の傷口から病原菌が侵入しやすい状態と考えられる。今後の気象条件は、気温は平年並、太平洋側の降水量はやや多く、多湿条件となりやすいので発病が助長され、今後はやや多い発生で推移すると考えられる。

- (3) 防除上の留意点  
ア. ほ場内に明渠排水等を行い、排水対策を実施する。  
イ. 予防的な薬剤防除を行う。  
ウ. 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

## イチゴ

### 1 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

10月下旬の場内ほ場及び現地ほ場では発病は確認されていない。しかし、今後の気象条件は、気温は平年並、降水量は並からやや多と予想されているので、施設内がやや多湿条件となり、本病はやや少ない発生で推移すると考えられる。

### 2 【うどんこ病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

10月下旬の場内ほ場及び現地ほ場では発病は確認されていない。しかし、今後の気象条件は、気温は平年並、降水量は並からやや多と予想されているので、本病はやや少ない発生で推移すると考えられる。

### 3 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並  
(2) 予報の根拠

10月下旬の現地ほ場及び場内ほ場ではやや少ない発生であった。今後の気象条件は、気温は平年並、降水量は並からやや多く、日照時間はやや多いと予想されているので、施設内では増殖に好適な条件になると考えられる。

### 4 【ハダニ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多  
(2) 予報の根拠

10月下旬の現地ほ場では、苗からの持ち込みと思われるハダニ類の発生が見られている。今後の気象条件は、気温は平年並、降水量は並からやや多いものの、日照時間がやや多いと予想されているので、施設内が日中は高温・乾燥条件となりやすく、増殖を助長すると考えられる。

- (3) 防除上の留意点  
ア. 薬剤散布を行う場合は、薬液が葉の裏に十分かかるように行うこと。

イ. 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

\* この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>)